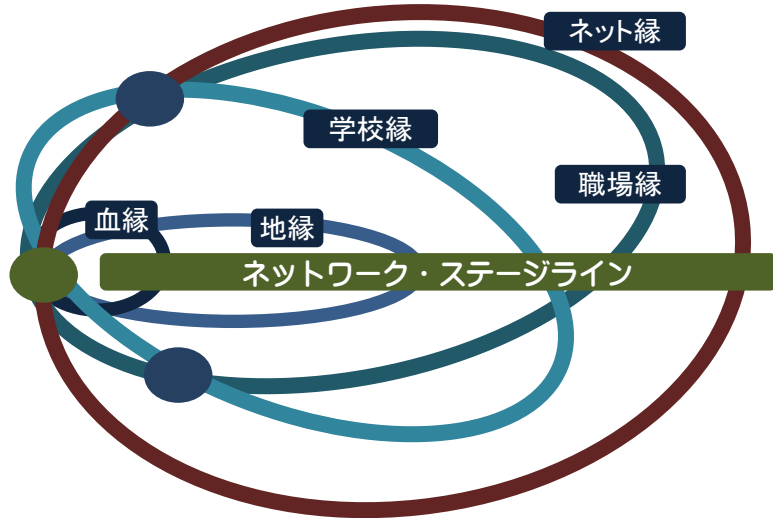


# ネットワーク形成



## 社会を形成するキッカケ、方法が広がっている。

人が集まり、コミュニティを形成する。集団が個人の様々な問題を取り扱う。健康、教育、仕事、将来について、等々を取り上げていく。

人が産まれて最初に関わるのは血縁である。しばらくは血縁の中で育つ。少し大きくなって、地縁へと広がる。住んでいる場所を中心にして、人と人の関係ができていく。アガサ・クリスティ(1890-1976)の名探偵の謎解きも、大半が地縁が解ければ事件は解決できているようだ。

成長して、地域から離れた学校へ通うようになり、学校縁が築かれる。

産業革命が起こり、人々は、家から職場へと通うようになり、職場の縁ができていく。組織が大きくなり、転勤があり、職場縁はさらに広がった。それでも職場縁が大きな広がりを見せ始めたのは第二次世界大戦が終わってからである。

インターネットができて、新たな世界、バーチャル社会が生まれ、ネット縁が誕生した。

人は、血縁、地縁、学校縁、職場縁、ネット縁と繋がりを広げていく。

そこで、複数のコミュニティに参加し、情報、知識が絶え間なく広がっている。

年代	世界人口	年間増加人口
B. C. 8000年	100万人	
B. C. 2500年	1億人	18,000
紀元元年	2億人	40,000
第一次農業革命		
1000年	3億人	100,000
1650年	5億人	307,692
第二次農業革命		
1800年	10億人	3,333,333
産業革命、交通革命		
1900年	20億人	10,000,000
生産革命		
1960年	30億人	16,666,667
第三次農業革命		
1974年	40億人	71,428,571
1987年	50億人	76,923,077
情報革命		
1999年	60億人	83,333,333
2015年	70億人	62,500,000

B.C.7C 高等教育機関誕生 パキスタン タキシラ寺院

1,088年 世界初の大学誕生 イタリア ボローニャ大学

大卒が企業に初めて採用された

さらなるキッカケが産まれるかもしれない。

人工知能が進み始めた。

人とコンピュータが会話をする。コンピュータは、相手を分析し、相手にマッチした応答をする。相手のデータはコンピュータに溜まり、コンピュータが他と接続され、コンピュータが人と人を能動的に結び付けるかもしれない。

すでに、始まっている。

社会形成のあり様に変化すれば、コミュニティ形成も変化するかもしれない。

自らの活動ステージはどの縁を足がかりに、どの縁から始めるか。自らのステージの広がりや発展を、如何なる縁の組み合わせで行うか。